

## スギ特定母樹および少花粉品種の直挿し発根適性の評価 ～ 直挿し適用系統が5系統追加され、9系統になりました ～

### 1 はじめに

直挿しによるスギ挿し木コンテナ苗の育成が苗木生産現場で始まり、当センターでは苗木生産者への穂木供給を本格的に開始した<sup>1)</sup>。

しかし、穂木として供給する系統は、これまで直挿し試験を行い、発根状況を確認した少花粉品種4系統に限定していた。

そこで、穂木増産に向けて、供給可能な系統数を増やすため、岩手県山林種苗協同組合と共同で、特定母樹および少花粉品種11系統の直挿し発根適性試験を行った。

### 2 方法

試験は住田町の苗木生産現場で行った。供試系統は特定母樹1系統(花巻5号)、及び、スギ少花粉品種10系統(南津軽5号、碓ヶ関7号、増川6号、由利11号、黒石6号、雄勝3号、岩手11号、北秋田1号、水沢6号、雄勝13号)とした。2021年5月20日、各系統96本(花巻5号のみ94本)の穂木をコンテナ(JFA300)に挿し付けた。穂木の調整方法、使用した用土、挿し付け後の管理方法は、既報<sup>2)</sup>のとおりである。

2021年10月12-13日、発根状況を調査した。コンテナ底面から根が確認された苗木を発根とし、系統別に発根した苗木の本数を供試本数で除した値を発根率とした。

### 3 結果と考察

系統別の発根率は75～99%だった(図1)。発根率が9割を超えたのは9系統あった。内訳は、今回新たに供試した5系統(花巻5号、南津軽5号、碓ヶ関7号、増川6号、由利11号)のほか、既に穂木供給可能な4系統(岩手11号、北秋田1号、水沢6号、雄勝13号)であった。これらは、コンテナ底面から発生した多数の根が確認され(写真1)、発根量も十分得られたと推察された。

#### 【参考文献】

- 1) 岩手の林業 令和3年9月号 p6-7
- 2) 岩手県林業技術センター研究成果速報 No.362

### 4 成果と今後の進め方

今回の試験結果から、発根率が9割以上のものを直挿し適用系統とし、穂木供給対象とした。これまで、穂木供給が可能なのは4系統だったが、新たに5系統が追加され9系統になった。

今後は、直挿し適用系統となった9系統の穂木供給を進めていくとともに、今回供試した11系統の発根後の苗木成長を継続調査していく予定である。



写真1 発根率9割以上の系統の発根状況 (直挿し約5ヶ月後)

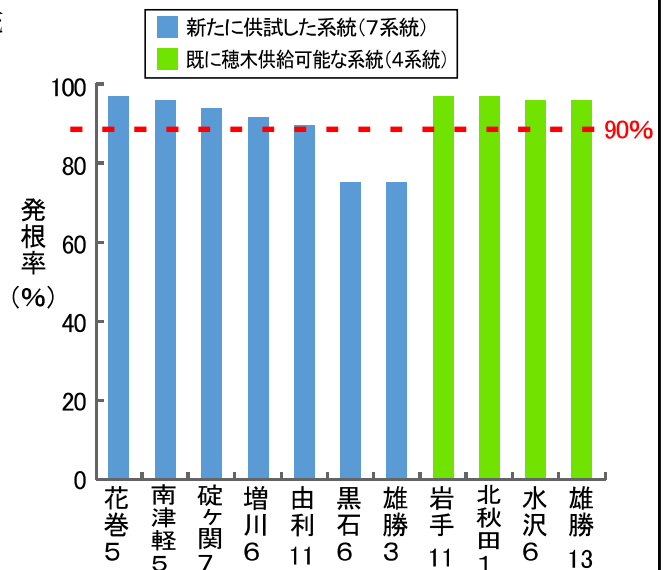


図1 少花粉品種および特定母樹11系統の直挿し発根率

(担当者 研究部 主査専門研究員 丹羽花恵)

連絡先

〒028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割560番地11

岩手県林業技術センター

ホームページアドレス : <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1017/>

TEL 019-697-1536

FAX 019-697-1410